

[抄録様式]

財団法人 8020 推進財団

平成 22 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：吉川市水道水フロリデーション普及啓発活動事業

2. 申請者名：吉川市役所 市長 戸張胤茂

3. 実施組織：吉川市、吉川歯科医師会、吉川市母子愛育会、吉川市コミュニティ協議会、栄町三区町会、フッ素利用をすすめる女性の会、日本大学松戸歯学部（学術・技術支援）、日本口腔衛生学会（学術支援）、吉川市フロリデーション推進協議会

4. 事業概要：市民が水道水フロリデーションを正しく理解し、吉川市における水道水フロリデーションの実現を目指すことを目的とした普及啓発促進事業を実施したものである。

5. 事業の内容：

(1)フロリデーション水の試飲体験活動の実施及び意見聴取

- ① 保健センター内に給水器を設置し、センター事業の参加者における試飲体験を実施した。
- ② 吉川市民まつりにおける試飲体験を実施した。
- ③ 吉川市コミュニティ協議会事業「魚つかみ取り大会」における試飲体験を実施した。
- ④ 吉川市栄町三区夏祭りにおける試飲体験実施した。
- ⑤ その他必要に応じた試飲体験を実施した。

(2)市内協力歯科医院におけるフロリデーション水の試飲体験及び意見の聴取

- ①協力歯科医師の診療所で随時フロリデーション水の試飲体験及びフロリデーションに関する感想及び意見など聴取を行った。また、協力歯科医院の増設（1か所）を行った。

(3)フロリデーション問答集の作成

- ①平成 21 年度のフロリデーション普及啓発活動事業で出された意見及び疑問などに答える問答集を作成した。

(4)まちづくり出前講座の開催

- ①市民からの要請に応じて出先でフロリデーション啓発及びアンケートによる意識調査などを行った。

(5)フロリデーションに関する PR 活動の実施

- ①リーフレットの作成を行った。

(6)先進地視察の実施

- ①NPO 法人むし歯予防フッ素推進会議主催の研修会に参加した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

吉川市水道水フロリデーション普及啓発活動事業計画に基づいて水道水フロリデーションを正しく理解するために試飲体験コーナー、各種イベント及び出前講座などの事業を実施してきた。結果については、アンケートの回答結果からフロリデーションについての理解度は高まってきており、認知度は 60.8% 台と前年比よりも 24.1 ポイント増加しています。しかし、さらなる認知度の底上げを図ることとともに、より多くの市民にフロリデーションに関する正しい情報を伝え、口腔衛生に関し、健康格差の是正に努めたいと考えている。今後も引き続き水道水フロリデーションの普及啓発事業を展開し、歯科保健活動に尽力を尽くしたい。